

◆ 大阪府立芥川高等学校(公立)

○受講生徒:普通科3年生(1クラス計40名)

○使用時間:3コマ(50分×3)

○充当教科:家庭科家庭基礎

○授業のねらい:・社会保障制度について、身近であり、知らなければ困ることを知る。

・社会保障制度の理念、概要と意義、必要性について理解する。国ごとの違いにも触れ、日本がこれからどのような制度を目指していくのが良いか考える。また、「高校生として知っておかなければいけない」項目について自分なりにまとめる。

・授業で学んだことをポスターの形にすることで、より自分の側に引き寄せて考えさせ、定着させる。また、校内に展示し、他の生徒への啓蒙も行う。

○使用教材: ①テキスト

②映像教材

③映像教材用ワークシート(教師オリジナル)

④理念やあり方ワークシート

⑤身近な社会保障ワークシート

⑥10個の「10分間講座」

⑦芥川高校版オリジナル教材(教材①⑤を基に作成)

【1限目】

展開	内容	使用教材
3分	本時の目的を理解させる。	
10分	社会保障について、身近であり、知らなければ困ることを理解させる。 ・「理念やあり方ワークシート」の高校生クイズ、「10個の「10分間講座」」から抜粋したクイズに取り組みせ、その後解説を加えていく。 ・学習を通して、自分のイメージしていた社会保障制度と実際の社会保障制度のギャップを実感させる。	理念やあり方ワークシート 10個の「10分間講座」
27分	映像教材を視聴させる。 ・映像教材を基に作成したワークシートに記入しながら視聴させる。	映像教材 映像教材用ワークシート
5分	映像教材視聴後、感想を書かせる。	
5分	本日の授業を振り返る。	

【2限目】

展開	内 容	使用教材
5分	前回の映像教材視聴時のワークシートを返却し内容を振り返る。	映像教材用ワークシート
30分	日本の社会保障制度の考え方を理解させる。 リスクと自助、共助、公助、他の国の現状を学習させる。 ・オリジナル教材を学習させる。 解説を入れながら、ワークシートに記入させる。 ・高槻市の年金事務所の配布物を紹介し、学生納付特例の申請の仕方があることを紹介する。 ・生活者として自立についても考えさせる。	オリジナル教材
10分	「理念やあり方ワークシート」を使い、国ごとで違いがあることを学習させる。	理念やあり方ワークシート
5分	生徒が、年金、医療保険について学内の他の生徒に一番知らせたいことを振り返りシートにまとめさせる。	テキスト

【3限目】

展開	内 容	使用教材
5分	本時の目的を理解させる。	
35分	2時間の学習で学んできた知識をアウトプットすることで、自分自身での理解度を実感させるために、社会保障を本校の生徒に知らせるポスターを作成させる。 ・これまでの「映像教材」視聴や、学習したことの中から、「これは知っておかなければ」、「これは大切なこと」、「知っているのと得する」、「一番印象に残っている」を考えて公共広告ポスターの形にさせる。	前2回で使用してきた教材を参照。
10分	振り返り 完成したポスターを黒板に張り出し、お互いの作品を見てもらう。 感想を書かせる。	

(参考)授業を担当した教師や受託会社の授業後の感想(「地域社会保障推進事業実施報告書」より)

<p>効果的だったと思われる点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○テキスト、ワークシートを生徒が理解しやすいように、教師オリジナルのワークシートに落とし込んで学習をさせたこと。 ○授業の導入で、社会保障に関するクイズを通して、生徒の誤ったイメージと正しい知識のギャップを自覚させて、これから学習する事への意識が高まり、自分のこととして問題意識を持ち、映像視聴を行えた。 ○授業の最後に生徒に「わかったこと」「わからなかったこと」「感想」を書かせたことで、生徒の理解度や疑問点を把握する事ができ、次の授業で効果的なフィードバックが行えたことが、効果的であったと思われる。 ○社会保障制度について学ぶだけではなく、卒業後の就職を見越して、サービスを受けるにはどのようにすれば良いのかなど、生活に即したプログラムにしたこと。 ○授業の最後にポスター制作を行ったことで、学習してきた内容を復習できた。
<p>問題点等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「またもう少し一つ一つをゆっくり学習したい」とアンケートに回答した生徒が数名いたので、時間をかけて学習してもよかったように思われた。 ○1, 2時限目で社会保障制度を学んだ際に、もう少しディベートする時間があれば良いと思われた。難しい内容の事を学習する際には、学習する過程で疑問に思ったことが、他人の意見を聞く事により解決したり、忘れていた事を思い出して、知識が定着したりするメリットがある。このような時間が取れれば更に生徒の理解向上に繋がるのではないかと思われた。